

にじっこ便利



第4号 発行 青森セクシュアルマイノリティ協会～にじいろ扁平足～

■それは特別でしょうか？変でしょうか？同性愛などへの理解のために

2012年10月6日(土)青森市男女共同参画プラザ カダール様主催にて表題の件について講演をさせていただきました。参加者15名。対象者は当事者、非当事者問わず。

まずは、セクシュアルマイノリティについて簡単な説明を行い、DVD「セクシュアルマイノリティ理解のために～子どもたちの学校生活とところを守る～」(制作:共生ネット様)を一部上映。上映後、自己紹介を兼ねて簡単に感想をお話していただき、ロールプレイを行いました。

ロールプレイでは、セクシュアルマイノリティ当事者が生活上どのような不利益を受けているかを疑似体験していただきました。

一つは学校生活における不利益。もう一つは社会に出てから受ける不利益について。

補足として前者では、思春期において自分を肯定できない場合、その後の社会生活へ大きな影を落とすこととなり、最悪自殺へつながるのだということをお話させていただきました。

後者では、職場において自らがセクシュアルマイノリティであることを明かすことにより、差別され職を失い、生活に困窮してしまう場面が非常に多いことをお話させていただきました。

私は当事者として普段考えている話や体験談をただけでしたが、参加者の皆様は熱心に耳を傾けて下さり、大変嬉しかったです。

途中つかえたり、思うように話せなかったこともありましたが、セクシュアルマイノリティの抱える問題の根深さや、必死で生きている当事者がたくさんいること。東京や外国の話ではなく本当に身近にいること…などが伝わったと思います。

知人に当事者がいらっしゃる方の参加。「何とか力になりたい」とお話されました。この場でカミングアウトされた方もいらっしゃいました。

じっと耐えている様子の方もいらっしゃいましたが、「途中退場してよい」とアナウンスし

ていたにも関わらず最後まで講演に参加してくださいました。

どれも勇気のある行動です。

また時間を割いてお茶会に参加して下さった方、ありがとうございます。

この日の講演のために、チラシ・パンフレットを提供して下さった団体の皆様、ありがとうございます。

本当は来たかったけれど…の方、ブログやメルマガ、この「にじっこ便り」を通じて交流しましょう。

居場所がない…とお考えの方、にじいろ扁平足があなたの居場所になります。

簡単ではありますが、紙面を借りてお礼申し上げます。カダール様、参加者の皆様、本当にありがとうございました。感謝しております。

■アンケートから

- ・「刷り込み」の根深さを改めて感じた。(DVDの)「50人にひとり」は問題を身近なものと感じ取れた。
- ・世の中には男と女しかいないと思っていたことが自分で悲しくなりました。
- ・セクシュアルマイノリティに限らず日本では人権意識が低い。学校教育でもなされていない。
- ・機会がある時にできること、友人の生活の中で取り入れたりして理解を深めたい。
- ・なかなか周囲が受け止められない現状だけど殻から抜け出したいと感じている。
- ・セクシュアルマイノリティの人たちが暮らしやすい社会になってほしいと思います。
- ・子供のころから悩んでいることを初めて知りました。
- ・人を好きになるのは、とてもすてきなこと。それが異性、同性どちらでも。その気持ちを大切にしていければいい。

ここでご紹介したのはほんの一部。他にも、たくさんのご意見、ご感想、思いを伝えていただきましたが、プライバシーの都合上ご紹介できないものもあります。皆様、熱心にお答えいただき、ありがとうございました。

♪ イベント情報 ♪

弘前市を中心に活動している、「セクマイボランティアサークル スクランブルエッグ」さんからワークショップのお知らせです^^v

↓↓↓以下詳細↓↓↓

「テレビの中だけじゃない！身近なセクシュアルマイノリティ」

同性愛、性同一性障害などのセクシュアルマイノリティの人たちは、クラスに1人はいるといえます。もし親友が、家族が当事者だったら？

今回は実際にそういった体験をされた方たちの声を元に、セクシュアルマイノリティの人たちとの向き合い方を考えます。

■日時:11月4日(日) 10:30~12:00

■会場:アピオあおもり 2階 ワーキングルーム

青森市中央3丁目17-1

<http://yahoo.jp/UNmfHx>

※アピオあおもり秋まつりの1プログラムとして開催します

■参加費・事前申込み不要

■企画:スクランブルエッグ

<http://gochamazetamago.main.jp/>

お時間の許す方、お誘いあわせの上会場に足を運び
スクランブルエッグさんのワークショップを盛り上げましょう！

♪ ★ ♪「スクランブルエッグ」とは ♪ ★ ♪

2008年11月11日に設立。セクシュアルマイノリティもより良く生きていける社会青森を目指して、色々な人と一緒に歩んでいけたらいいな～ という趣旨で運営されています。

ホームページ

<http://gochamazetamago.main.jp/>

ブログ「ごちゃませたまご通信」

<http://blog.goo.ne.jp/gochamazetamago/>

♪ にじっこシネマ ♪

「ミルク」(原題:Milk) 2008年 アメリカ作品

・監督:ガス・ヴァン・セント

・出演:ショーン・ペン、エミール・ハージュ、ジョシュ・ブローリン 他



■あらすじ

1972年のニューヨーク。金融や保険業界で働いていたミルクは、20歳年下のスコットと出会い、恋に落ちる。二人は新天地を求めてサンフランシスコに移り住み、小さなカメラ店を開店。そこはたちまち同性愛者やヒッピーたちのよりどころとなり、ミルクは彼らを快く思わない保守派に対抗した新しい商工会を結成する事になる。社会的でユーモアにあふれたミルクは、近隣住民の抱える問題に、政治的により関わりを深めていく…

■感想

オバマ大統領が選ばれた2008年に映画「MILK」が生まれました。30年前のミルクのようなマイノリティを支える活動がオバマ大統領が選ばれる社会の基礎となったのでしょう。毎年、世界各国、全国各地でゲイパレードが行われています。青森でも2006年より毎年映画祭が開催されています。でも、私自身もそれを漠然と見ているだけ。ここまでにとどりつくまでにこんなにも尽力した人がいることは知っているけど、「知っている」だけ。セクシュアルマイノリティが今のように認知されるに至ったことは必然ではなく、ハンパではない努力なのです。しかし今尚、偏見・差別はあります。セクシュアルマイノリティに限らず、偏見・差別と言うのは人間がいる以上あり続けることです。私たちはその事実をしっかり受け止め、そして尊重していくことが大切なのだ、傷つけ合って生きて行くことは無駄なことなのだ、人間のあり方を深く感じさせる映画です。これまでセクシュアルマイノリティをはじめ、社会が抱える問題に興味のなかった人も、この作品を通じてミルクの人柄に触れ、関心を持ってほしいと考えています。

★♪★ 編集後記 ★♪★

猫が暖かい季節です。お燗が暖かい季節です。人の温かさが身にしみる季節です。鍋やスープが美味しい季節です。私は猫とお酒と音楽と、素晴らしい健康があれば幸せです。お酒飲んでても心が健康ならいいんです(笑)。あなたはどうか？何はともあれ、最後までお読みいただきありがとうございます。次号をお楽しみに！(なな)

青森セクシュアルマイノリティ協会 ～にじいろ扁平足～

ブログ

<http://nijiirohenpeisoku.seesaa.net/>

Eメール

nijiirohenpeisoku@yahoo.co.jp

「にじっこ便り」はコピーしたり、ファイルのやりとりをしたり、プリントアウトしてお友達や困っている人に自由に配っていいですよ^^☆